

# What's up,

# OITA!

(どげえかえ、ふるさと大分!)

世界で活躍する県人会員と留学生OB、大分県関係者の皆さま方に、大分の「今」をお伝えします。

《Vol. 57》2017年11月発行

なつかしい我が故郷～大分ふるさと写真館～

【中津市/日田市】



(中津市)  
八面山



(中津市)  
中津からあげ



(日田市)  
天ヶ瀬温泉



(日田市)  
小鹿田焼

## ロサンゼルス大分県人会100周年記念式典が開催されました

9月30日に、南加(ロサンゼルス)大分県人会の創立100周年記念式典がロサンゼルス空港の南、ガーディナ市にある仏教会のホールにて開催され、参加者80人がこの大きな節目を祝いました。

日本からは、大分県の安東副知事、大分市の佐藤市長、大分日米協会の姫野会長、そして東京の大分県人会インターナショナルの薬師寺代表を始め14名が出席し、会員の方々及び現地のご招待客との親睦を深めました。

式典では、歌やオペラの披露や太鼓の演奏、大分の方言についての講話などが行われ、最後にラッフル福引があり、会場は大いに賑わいました。



## 日本留学フェア(ベトナム)に出展しました

9月30日と10月1日にベトナムのホーチミン、ハノイにてそれぞれ開催された日本留学フェア(主催:日本学生支援機構)に出展し、留学先としての大分県をPRしました。ホーチミン、ハノイともに100名を超える学生がブースを訪れ、熱心に大分県での留学について情報を集めていました。

来年度も、たくさんの留学生が大分県に来てくれることを期待します!



## ラグビーワールドカップ2019大分開催2年前イベント

平成29年10月8日(日)にホルトホール前大分いこいの道広場にてラグビーワールドカップ2019大分開催2年前イベント「大分ラグビーファンゾーン2017」を開催しました。



オープニングセレモニーでは、ステージ上にラグビーワールドカップ優勝トロフィー ウェブ・エリス・カップを飾り、ニュージーランドのステイブン・ペイトン駐日大使をはじめとした多くの大会関係者をお招きし、大分開催の成功を期待するご挨拶をいただきました。また、オープニングセレモニーに引き続き、ラグビーワールドカップの装飾を鮮やかに施したラッピングバス出発式も行いました。

会場にはこの1日で家族連れや子どもなど約1万5千人もの方々に訪れていただき、多彩なステージイベント、県内外のグルメコーナーやラグビー体験コーナー、ニュージーランドラグビー協会のコーチによる小学生向けのタグラグビー教室などの様々な催しで大いに盛り上がりました。世界最高のラグビーの祭典まであと2年となったことを多くの県民にアピールできた1日となりました。

【ラグビーワールドカップ2019推進室】



## おおいた大茶会開催1年前イベント

来年、大分県で開かれる予定の「国民文化祭・おおいた2018、全国障害者芸術・文化祭おおいた大会」の開催1年前を盛り上げる「おおいた大茶会1年前イベント」が平成29年10月1日(日)に芸術文化ゾーン(大分県立美術館、iichiko総合文化センター及びその周辺)で行われました。

当日は、県立美術館とiichiko総合文化センターの間の国道197号を歩行者天国にし、ゆふいん源流太鼓や日田祇園囃子など県内各地の伝統芸能の披露やMay J.によるミニライブなど様々な催しが行われました。1万人を超える多くの方がご来場され、イベントの最後には会場の全員でバルーンリリースを行い、1年後の大会に向けて大いに機運が盛り上がるイベントになりました。

来年は、10月6日(土)から11月25日(日)まですべての市町村でイベントが行われます。伝統文化から現代アートまで、様々な芸術文化に出会うことができる2ヶ月間。大分県内の各地域で受け継がれている祭り、食などの地域体験も魅力。ぜひご来場ください。

【国民文化祭・障害者芸術文化祭局】



## おんせん県おおいたPR動画「プレミアムフロイデー」公開中！

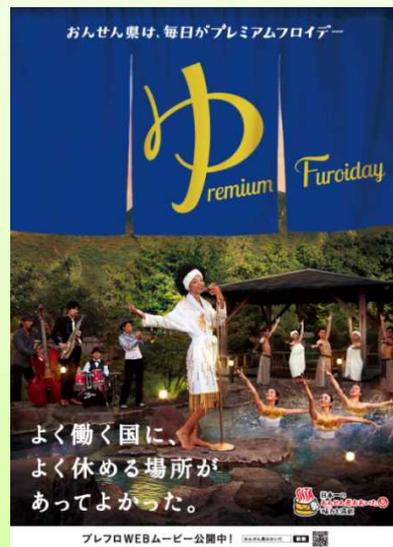
源泉数・湧出量日本一を誇る大分県は、働き方改革が多様な視点で語られる中、働き方と同様に休み方の提案をすべく新作動画「プレミアムフロイデー」を公開しました。

日本一のおんせん県として、動画で「プレミアムなお風呂でもっと楽しく休もう！」と休み方を提案しています。Premium Furoiday のロゴの「P」は「ゆ」の文字で表現。「フロイデー」にはドイツ語で「喜び・歓喜」という意味もあります。

温泉で繰り広げられるミュージカル仕立てのおもいきり楽しめる動画に仕上がっています。楽しくてワクワクする本動画をぜひご覧ください。

プレミアムフロイデー公式HP <http://onsenkenoita.com/>

【広報広聴課】



## 第3回大分県スタディツアーが実施されました

大分県では、県の奨学金を受給する留学生を対象とし、県内の様々なところを見学するスタディツアーを年4回実施しています。10月7日に、第3回目となるツアーが実施され、別府市の鉄輪エリアの街歩きを行いました。

別府に住んでいる留学生も多いですが、鉄輪を歩くのは初めてという学生も多く、ガイドの話を興味深そうに聞いていました。

街歩き後にはワークショップを開催し、留学生にそれぞれ「街歩きの中で見つけた自国の人に紹介したいもの」をテーマとして撮った写真をSNSにアップしてもらい、なぜそれを選んだのかについて発表してもらいました。昼食に食べた地獄蒸し料理や、鉄輪らしい湯けむりの風景などが人気でした。



## 海外大分県人会交流掲示板



10月20日に、ブラジル大分県人会の矢野敬崇名誉会長が来庁されました。

ブラジル大分県人会では、来年、創立65周年記念式典を開催する予定とのことで、その打合せを兼ねて来庁してくださいました。





**Pick Up!** 大分の「今」

# 県内の出来事（10月）



## 【10月9日（月）】 由布院牛喰い絶叫大会

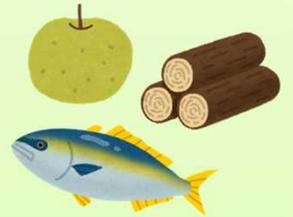
由布市湯布院町川上の並柳牧場にて9日、第43回由布院牛喰い絶叫大会が開催されました。大会には約700人が訪れ、豊後ゆふいん牛などのバーベキューを楽しみ、子どもから高齢者まで100人が絶叫を披露しました。

今年は先月行われた全国和牛能力共進会での健闘をたたえる絶叫が目立ったほか、夫婦や家族に関する叫びや災害に関するものなど、参加者は思い思いに絶叫し、観客を沸かせていました。



## 【10月7・8日、14・15日】 おおいたみのりフェスタ

大分の実りの秋を彩る恒例のイベント、「大分県農林水産祭“おおいたみのりフェスタ”」の水産部門が7～8日、農林部門が14～15日にそれぞれ開催されました。今年は「まるごと“おおいた”いただきます」をスローガンに、新鮮な農林水産物の直売コーナーや郷土料理等のレストランに加え、会場内クイズラリーやパンカフェコーナーなども設置され、大盛況のうちに幕を閉じました。



## 【10月29日（日）】 国際車いすマラソン 初の中止

大分市で29日に予定されていた第37回大分国際車いすマラソン大会が、台風22号の影響で中止となりました。コース上に枝葉が散乱し、複数の地点が冠水したことから、選手の安全を確保することが難しいと判断されたためです。1981年から開催されている本大会ですが、中止となるのは初めてのことです。今年は16か国から224人がエントリーしていました。広瀬知事は、「来年、また元気いっぱいのレースを期待している」と話しています。

※国際政策課にて新聞等を元に作成



## 中国湖北省研修員 ♪ 大分体験記 ♪

先日、台湾からの学校訪問の活動に同行し、日本の高校生との交流の場を作っていただきました。ドラマや映画で見た高校生の実生活が体験できて、日本人の生徒の生活への認識を一新しました。一日のほとんどを教室に閉じこめられる中国の高校生と違って、伝統舞踊、スポーツサークルなど日本人学生の授業外活動は非常に充実していることが分かりました。サークル活動には、みんな一生懸命努力し、その成果として素晴らしい神楽演目「貴見城」を交流活動で披露していました。活気よく若々しい彼らの学校生活に触れ、自分の高校生活も思い出しました。これからもこのような活動に引き続き参加し、さらに日本人の日常生活を体験したいと思います。



【湖北省研修員 戴立君（ダイリックン）さん】

# From our Reporters



県の国際交流員等が、旬なOITA情報をお届けします。



シェリダン・ミキシック  
(Sheridan McKisick)  
県国際交流員  
米国  
[pu1014001@pref.oita.jp](mailto:pu1014001@pref.oita.jp)

10月の三連休に「城下町杵築 観月祭」に行きました。最後に祭りに行ったのは3ヶ月前の長浜神社夏祭りでした。なお、最後に杵築市に行ったのは2年前以上でした。

普通列車に乗ったら大分市から杵築市まで45分かかります。ほぼ1時間かかりますが、行ってみる価値がありました。おいしい屋台料理を食べること以外にも、パフォーマンスや余興がありました。余興の一つは人形芝居でした。人形はちょっと怖かったけど人形使いがとても上手でした。

他のおもしろいところは杵築のコミュニティでした。ALTとして働いている友達と一緒に行ったので、祭りで偶然、生徒さんに何回も会いました。外国人なのに杵築の社会の柱になりそうでした。しかし、祭りの一番いいところはもちろん道に点々と見えた竹あかりでした。この竹あかりが月と一緒に城下町を照らしてとてもきれいでした。



金 眞雅  
(Kim Jina)  
県国際交流員  
韓国  
[pu101502@pref.oita.jp](mailto:pu101502@pref.oita.jp)

今月のwhat's up, OITA!多言語版の取材先は豊後高田市です。今回は国際交流員みんなで取材に行ってきました。まずは、豊後高田市にあるそば打ち道場で、そば打ち体験をしました。均一に生地を伸ばすことや包丁で細く切ることが難しかったのですが、楽しい体験でした。体験が終わった後、昭和の町商店街を散策しました。昭和の町は9月末に公開された映画「ナミヤ雑貨店の奇蹟」のロケ地として今改めて注目を集めています。昭和の町展示館では映画の撮影で使用されたセットや小道具、衣装などが展示されていて、商店街にはナミヤ雑貨店のセットも再現されていました。

先日映画も観ましたが、映画の中に見慣れた景色が映し出されていて面白さが増しました。また、大分市内でも撮影が行われたようで、私の住んでいる町の風景も登場して驚きました。



張 鵬  
(Zhang Peng)  
県国際交流員  
中国  
[Pu1014006@pref.oita.jp](mailto:Pu1014006@pref.oita.jp)

最近、気温がだんだん下がって、ようやく秋らしさを感じられるようになりました。秋になると、またピクニックに行きたい気持ちが出てきました。ずいぶん前から国際交流員と一緒に近くのキャンプ場でバーベキューをする企画があり、10月の中旬にやっと皆の時間を合わせて、バーベキュー大会の開催が決まりました。

日本でのバーベキューは初めてでしたが、朝早く皆さんと合流し、食材をたくさん持って出発しました。当日は大雨でしたが、ピクニックの気持には全く影響を与えませんでした。

バーベキューの道具を借りて、自分で火をつけるのも初めてですから、食材の焼き加減がよく把握できず、お肉を網に並べたとなん焦げてしまっててんてこ舞いしました。新しく来県したイギリスの国際交流員とは仕事の違いでめったに会えませんので、バーベキュー大会をきっかけにいっぱいお話しに付き合ってください、とても楽しい一日を過ごしました。



## ～編集後記～

県内各地で紅葉がきれいな季節になりました。11月は、大分秋の風物詩白杵・杵築・竹田・日田の竹灯りのイベントが行われる時期でもあります。ラグビーワールドカップ2019の大分開催日程や組合せも決まり、準備や海外誘客がこれからさらに本格化していくこととなります。ラグビーはもちろん、来年度の世界温泉地サミット、国民文化祭の機会に大分に訪れる方には、合わせて大分の自然、歴史、文化、食も堪能していただきたいと思えます。海外県人会や留学生の皆さんのお力も借りて、大分の魅力をさらに発信していきますので、よろしくお祈りします。

(国際政策課長 徳野 満)

## 話題提供のお願い!

県人会の活動(懇親会等)や留学生OBの近況など、世界中の大分県関係者に紹介したい話題をお寄せください!

(様式は任意です)

【記事提供/お問い合わせ先】国際政策課 担当:小野  
【Mail】 [a10140@pref.oita.lg.jp](mailto:a10140@pref.oita.lg.jp)

バックナンバーはこちら

<http://www.pref.oita.jp/soshiki/10140/whatsupoita.html>